



[本校] 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690
[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117
http://www.nuis.ac.jp somu@nuis.ac.jp



5カ国へ80人が留学

2・3面

魚沼市と「包括的連携協定」

8面

華やかに国際交流フェア、高校生英語スピーチコンテスト

4面

「1dayキャンパスinうおぬま」にぎわう

8面

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は nuischannel@nuis.ac.jp までお問い合わせください。

PHOTO: 旭山動物園 小野塚 明子 (本学職員)

CONTENTS

2・3面

目標や期待を語り合う

派遣留学・

夏期セミナー壮行会

4面

国際交流フェア

G7新潟農業大臣会合で活躍

笑顔の5人、通訳ボランティア

5面

21人に表彰奨学金

「佐潟と歩む赤塚の会」

「赤塚中原邸保存会」で講演

6・7面

「ズームアップ研究室」

平成29年度

入試日程概要一覧

教員の活動

8面

魚沼市と人的・知的資源の交流

「包括的連携協定」結ぶ

「1dayキャンパスinうおぬま」

オープンキャンパス案内



NUISホームページ
<https://www.nuis.ac.jp>
(スマートフォン対応)



Facebookページ

<https://www.facebook.com/nuis.face>

LINE@

@nuis-line3111

LINEの「友だち追加」から「ID検索」で登録

夢は大きく5カ国へ80人が挑戦

壮行会で目標や期待を語り合う

派遣留学（国際文化学科）と海外夏期セミナー（情報システム学科）に参加する学生の壮行会が6月15日、本校みずき野キャンパスの国際交流センターで開かれました。今年度はアメリカ23人、ロシア6人、中国10人、韓国15人、そしてカナダ26人の合計80人が1〜4カ月余の海外生活を体験していきます。

壮行会では留学奨学金の授与式も行われ、平山

征夫学長が一人ひとりに奨学金証書を贈りながら、異文化交流を大いに楽しんでと激励。各コース代表が積極的に充実した日々を送り、語学をスキルアップしたいなどと抱負を述べました。参加学生と関係教職員がテーブルを囲んで、それぞれの目標や期待を和やかに語り合い、実り多い無事な帰国を誓い合いました。今年度で派遣留学生の累計が1150人となりました。

8月7日から出発

アメリカ（国際文化学科2年生）

・飯原 元 勉学、交流を真剣に楽しみながら身につけ、成長していきたいと思っています。

・石橋香音 留学は小さいころからの夢だったので、とてもうれしくて、緊張しています。

・伊東菜優 言語の勉強だけでなく、アメリカのさまざまな人々とたくさん交流したいです。

・井上達矢 異文化を経験し、人生に生かせるように4カ月過ぎたいと思います。

・奥田早希 ジェンダーや人種が多様なので、日本の社会を見つめ直すいい機会になればいいなと思います。

・串田牙佳 英語学習にしっかりと取り組み、積極的にコミュニケーションをとります。

・呉座谷美可子 この4カ月間を日々楽しみ、いろいろな経験をしてみたいです。

・坂爪俊介 友人もつくっていいと思います。

・櫻岡椎奈 刺激的な日々を送れるように頑張ります！！

・櫻澤綾香 現地ではできない体験をし、これからの人生に生かせるような留学にしたいです。



アメリカ



ロシア



中国

・柴田 空 本学の一人として責任を持った行動を心掛けていきたい。

・高井皓友 言語力はもちろんのこと自身が成長できたと思えるよう充実させる。参加できることに感謝。

・高橋 叶 日本人であるという自覚を持つとしっかりと勉強することを表明します。

・高畑沙羅 友人をつくり、交流を深めたいと考えています！！

・玉木幸恵 アメリカ文化が学べるのがとても楽しみです！！

・丹呉颯汰 身につけた英語スキルの実践を楽しみたいと思います。

・中川賢太郎 文化を学び、価値観を広げられるように、日本の留学生として恥じないように頑張りたいです。

・成田吏佐 後悔しないようにいろいろなことを学びたい！！

・橋立ほのか アメリカへ行くのは2回目です。以前は2週間という短い期間でしたが、今回は4カ月もあり多くの経験が得られると期待しています。

・樋浦優里 たくさんの人と触れあつてたくさんのことを学び身につけて帰ってきたいです。

・平松明季歩 英語でコミュニケーション

・近 佳奈 ロシア語を実際に生活の中で使うことで、より自然な言い回しを見につけられたらいいと思います。

・齋藤優里愛 語学力を伸ばしたい。日本との関係を文化を通じて感じていきたい。

・馬場 啓 帰って来た時に、学んだことを自信を持って活用できるように頑張りたい。

・藤田千穂 積極的にいろいろなイベントに参加して挑戦したいと思っています。

・古山七海 コミュニケーション能力とともに、語学スキルを向上できればと思います。

・堀川実姫 語学だけでなく、生活様式や文化など、日本にはない空気をを感じ、自分の世界観をより広いものとしたいです。

ロシア（国際文化学科2年生）

・石井千翔 積極的に韓国語を使って、有意義な4カ月となるように頑張りたい。

・石塚夏美 この機会を無駄にせず、悔いの残らない留学生生活を送りたいです。

・大滝理奈 語学力の向上を一番の目標に頑張りたいです。そして、楽しみたいですね！！

・小熊美柚 たくさんのことを吸収してきたいです。人として大きくなれることを目標に、精いっぱい頑張ります。

・加藤玲奈 留学によって自分を変えることができると思うので頑張ります。

・乙 美穂 韓国語を使えるようにして、知識を増やし成長したいと思うように一生懸命勉強していきたいです。

・小松瑞歩 留学で多くのものをつかんできたいです。この機会を無駄にすることのないよう、日々の勉強に努めようと思っています。

・齋藤優菜 語学だけでなく文化や、他国の人と友人関係を築けるよう頑張りたい。

・佐々木花純 第一の目的は語学力の向上。文化体験も積極的にしたいです。また、同世代の人とさまざまな意見交換もしようと考えています。

・富田裕香 韓国でしかできない経験をたくさんして、成長して日本に帰って来れるように頑張りたいです。

・平松美衣奈 少しでも成長できたと感じられるような自分になつていきたい。

・星山ゆり 韓国の方をはじめ、留学にきている方と会話できるようなになり、自分の伝えたいことを伝えられるように語学力を上げたい。

・堀 未来 韓国語をしっかり身につけたいです。

韓国（国際文化学科2年生）

・石井千翔 積極的に韓国語を使って、有意義な4カ月となるように頑張りたい。

・石塚夏美 この機会を無駄にせず、悔いの残らない留学生生活を送りたいです。

・大滝理奈 語学力の向上を一番の目標に頑張りたいです。そして、楽しみたいですね！！

・小熊美柚 たくさんのことを吸収してきたいです。人として大きくなれることを目標に、精いっぱい頑張ります。

・加藤玲奈 留学によって自分を変えることができると思うので頑張ります。

・乙 美穂 韓国語を使えるようにして、知識を増やし成長したいと思うように一生懸命勉強していきたいです。

・小松瑞歩 留学で多くのものをつかんできたいです。この機会を無駄にすることのないよう、日々の勉強に努めようと思っています。

・齋藤優菜 語学だけでなく文化や、他国の人と友人関係を築けるよう頑張りたい。

・佐々木花純 第一の目的は語学力の向上。文化体験も積極的にしたいです。また、同世代の人とさまざまな意見交換もしようと考えています。

・富田裕香 韓国でしかできない経験をたくさんして、成長して日本に帰って来れるように頑張りたいです。

・平松美衣奈 少しでも成長できたと感じられるような自分になつていきたい。

・星山ゆり 韓国の方をはじめ、留学にきている方と会話できるようなになり、自分の伝えたいことを伝えられるように語学力を上げたい。

・堀 未来 韓国語をしっかり身につけたいです。



夏期セミナー カナダ アルバータ州立大学



派遣留学 韓国 慶熙大学校



派遣留学 中国 北京師範大学

・本多由佳子 自分を見つめ直し、パワーアップして帰ってこようと思います。

・山口風子 語学力向上のため、たくさん韓国人と話すことを心掛けます。

中国 国際文化学科2年生

・上松彩香 不安もあります。いろいろなことを経験して帰ってきたいです。

・五井晃 さまざまな体験をしてきたいです。言語を越えた異文化交流をしたいです!!

・菅原里穂 会話力を向上させ、文化を学びたいです。

・多田未奈 将来は語学を生かして文化交流を積極的にやりたいに立ちたいと思います。頑張ります。

・館海香子 単純な日常会話だけではなく、自分の考えや意見を言えるようにしたいです。

・中村匠 学ぶことに対して積極的になって、必ず何かを得て、実りある留学にしたい。

・廣田夏帆 精いっぱい、中国での生活を満喫していきたいと思っています。

・藤巻直也 大学の代表としての自覚を持って、留学を意義あるものとしてこれからの学習に生かしていきたいです。

・牧野笑花 さまざまな人々との交流を通して、文化や価値観を学び、意義のある留学にしたいと思っています。

・渡辺光紀 日常会話をすらすらできるようにしたい。

カナダ (情報システム学科2・3年生)

・佐藤優季奈 現地で語学、文化、歴史を学び、その場その場で人とのつながりがつくれるように励みます。日本、新潟のことをもしっかり伝え、交流をはかり、



韓国



カナダ

素敵な思い出をつくっていききたいです。

・長井宏樹 本学の学生としてふさわしい、現地でも通用する英語力、コミュニケーション能力を身につけたいと思います。

・藤田郁弥 スピーキング能力とライティング能力を身につけて帰ってきます。

・本間萌 いろいろなと学びたいです。英語が苦手なので、克服できるように頑張りたいと思っています。

・松井舞矢 カナダに行つて何か経験を得られれば良いと思っています。

・山口翔太 本場の英語を現地へ行つて身につけたいと思っています。

・山田武之 一回り大きくなって戻ってきます。

・荒井雄 初めての海外なので、異文化に触れて、自分の英語力を上げて、将来の夢を叶えるきっかけになるような留学にしたいです。

・五十嵐由衣 英語でコミュニケーションをとったり、異文化に触れたりできるので、それらを今後に生かせるよう学んでいきたいと思っています。

・板橋和哉 外国語や文化を身

につけていく中で、この研修がよいきっかけになるようにいろいろな経験をしたいです。

・海藤美月 英語の学習能力を上げ、国際的な文化も学習していきたいと思っています。

・小池優太 外国人と英語でコミュニケーションを取れるようになるきっかけを作るためにカナダへ留学します。

・小島瑞季 積極的に行動し、たくさんの方の文化を吸収していきたいです。

・小林瑞歩 異文化に触れたら、現地の方とコミュニケーションを取ったり、有意義な時間にした。

・斎藤杏奈 カナダは日本とどのような点で異なり、どのような点が似ているのかを考えることで、今後に生かせることを見つけた。

・白井琴奈 今、すごく楽しい気分が持ち上がっています。この学習を生かして、より良い研修にしたいです。

・関谷みそら 国際交流をすることで、国際化の先駆となるようにしたいです。

・橘まりあ 不安なこともありますが、文化、言葉など、カナダで感じられることをできる

だけ吸収して帰ってきます。

・玉木みほ 日本では体験できないことを学び、新しい知識を身につけて、今後に生かしたいと思っています。

・土田波輝 カナダの人たちの文化、価値観、知識を取り入れてきたいと思っています。

・鶴巻千聖 短い期間ですが、新しい知識をたくさん学んできたいと思います。

・頓所光 日常生活で英語を話せるようにするためにこの留学を希望しました。不安はありませんが、頑張ります。

・永野司 積極的に英語を使い、外国の文化に向かって行きたいです。

・中林諒 自分の価値観を見つめ直すことができると思っています。新しい考えに出会い、新しい価値に出会いたいと思います。

・山田さくら 積極的に人と関わり、自分を成長させる1カ月にして、自分成長させたいです。

・六本木瑞季 異文化に対する理解を深めたいと思います。英語能力に繋がるといい活動をしていきたいと思っています。

派遣留学・夏期セミナー参加学生の累計

	アメリカ	ロシア	中国	韓国	カナダ	計
平成 7年度	13	7	29	14		63
平成 8年度	17	20	15	13		65
平成 9年度			31			31
平成10年度	14	7				21
以上 海外研修計	44	34	75	27		180人
平成12年度			30		20	50
平成13年度	17	6	15	12	14	64
平成14年度	13	3	17	9	17	59
平成15年度	11	1	(中止)	4	6	22
平成16年度	13	2	31	7	8	61
平成17年度	12	5	18	13	22	70
平成18年度	7	0	9	5	3	24
平成19年度	25	12	16	10	9	72
平成20年度	12	9	9	7	13	50
平成21年度	13	11	6	4	12	46
平成22年度	16	7	10	11	9	53
平成23年度	13	7	18	13	4	55
平成24年度	14	7	13	7	12	53
平成25年度	27	5	10	10	23	75
平成26年度	16	18	8	11	10	63
平成27年度	21	6	12	13	21	73
平成28年度	23	6	10	15	26	80
計	253	105	232	151	229	970
合 計	297	139	307	178	229	1150

平成28年度のスケジュール表(出発順)

国名/留学大学	留学期間	参加人数
カナダ アルバータ州立大学	平成28年 8月7日～9月3日	情報システム学科 2・3年生 26人
アメリカ ノースウエスト・ミズーリ州立大学	平成28年 8月24日～12月18日	国際文化学科 2年生 23人
中国 北京師範大学	平成28年8月29日～ 平成29年1月7日	国際文化学科 2年生 10人
ロシア ウラジオストク国立経済大学	平成28年 8月30日～12月29日	国際文化学科 2年生 6人
韓国 慶熙大学校	平成28年 9月3日～12月23日	国際文化学科 2年生 15人
参加学生数合計		80人



国際交流フェア

本学中央キャンパスで国際交流フェアが6月5日に開かれ、県内の高校生による第2回英語スピーチコンテストと、本学学生の留学報告会が行われました。その様子はU X新潟テレビ21のニュースや新潟日報紙面でも報道されました。

第2回高校生英語スピーチコンテスト

7 高校14人、表現を競う

高校生英語スピーチコンテストは県内7高校から14人が参加。「人との絆から平和を考える」という共通テーマに、制限時間5分

内でいずれも発音や滑舌に気をつけながら身振り手振りも大きく、会場の聴衆にアイコンタクトをするなど熱のこもったプレゼンテーションで

た。選考は本学の小林伊織先生を審査委員長に阿部聡先生、シンシア・スミス先生とU X新潟テレビ21の村山朋彦営業部長が審査委員となり、白熱

した議論の末、最優秀賞には開志国際高等学校2年生の麻宇婷（マ・ウティ）さんが選ばれて表彰を受けました。去年よりレベルがさらに上がったと審査報告があり、会場は満面の笑顔でガッツポーズする高校生

テレビ、新聞も報道 留学報告会多彩に



悔し涙を流す高校生も見られましたが、真剣でとてもさすがに感じました。アメリカ・ロシア・中国・韓国・カナダに短期留学した本学学生の報告会では、映像も駆使して各国の伝統文化や大学の様子を英語や中国語などで紹介し

て参加者を楽しませ、留学中の写真を見ながら現地の言語でプレゼンテーションを行い、韓国のチマチヨゴリなど民族衣装を着て会場を盛り上げました。英語による説明では高校生より先輩の風格を示すことができたと思います。多くの高校生や先生方、保護者の皆さ

に、「よかった」「よかったね」と喜ぶ応援の指導教諭とクラスメイト。一方で

G7新潟農業大臣会合で活躍

笑顔の5人、通訳ボランティア



笑顔で案内する坂井静華さん

の宮浦中学校ボランティア委員の生徒が説明する景観の案内を英語で通訳すると、周囲360度見渡す市街地、広い新緑の新潟平野と信濃川、弥彦・角田の山々、そして日本海に浮かぶ佐渡の島影に「オーワンダフル！」とほほえんでいました。食と農を中心にしたパネルなどで新潟の魅力を発信するコーナーでは、展示ブースに並ぶ甘いイチゴ越後姫やルレクチエ、枝豆に新潟和牛、佐渡の寒ブリ、南蛮エビなどと共に、コシヒカリなど特産のお米、深みある味わいの村上茶に特に興味を示

国際文化学科3年 小黒 洋子（英語集中コース）

喜ばれ、貴重な体験

していました。

私たち国際文化学科の2年生2人と3年生3人は4月23日と24日、新潟市で開かれた「G7新潟農業大臣会合」で通訳などボランティア活動に参加し、サミットに集まった外国機関代表や海外メディアの方々をお迎えして国際交流のお手伝いをしました。

まずJR新潟駅では、サミット関係者の歓送迎アテンドと手荷物運びのサポートでした。お客さま一人ひとりに特別の笑顔で「ウェルカム」とお迎えすると、どんなもすてきな笑顔で手を振り返してくださいました。

大臣会合の会場、朱鷺メッセの31階展望台フロアでは、新潟市内に本学の多様な留学の内容を伝えることができました。（国際交流委員長・国際文化学科 教授 佐々木 寛）

学業や課外活動優秀者 活躍を表彰

学業や課外活動に頑張っている学生たちをたたえる表彰奨学金の授与式が6月5日に行われ、平山征夫学長から21人に証書と奨学金が贈られました。学長の激励に、学生たちは一層の活躍を誓っていました。

今年度の表彰学生は、学業優秀者（前年度の修得科目の成績が各学年・学科において優秀であった

21人に奨学金



一層の励みに

者）が15人（国際文化学科4人、情報文化学科2人、情報システム学科9人）で各30万円。また、課外活動では「妙高市の温泉地での誘客促進の取り組みによる地域経済の活性化」の企画実施、外国語スピーチコンテストで1〜3位、スポーツで全国大会に出場するなど活躍した、合わせて6人に各10万円が授与されました。

地形学から郷土を解明

国際文化学科・教授 澤口 晋一

「佐潟と歩む赤塚の会」総会（4月24日）で「赤塚・越前浜砂丘の再検討と新たな知見」と題して、「赤塚中原邸保存会」総会（5月22日）では「新潟砂丘と赤塚集落——地形学的にみた中原邸の位置——」と題して講演させていただきました。

新潟砂丘は角田山北麓から村上まで全長約78kmにも及ぶ日本有数の砂丘で、なかでも標高が最も高く（52・3m）広がり大きいのが赤塚・越前浜にかけての砂丘です。2、3年前からこの砂丘に興味をもち、土地改変の状況などを観察してきたのですが、気づいたことがいくつもありました。一つは農地として平坦化された砂丘地の数カ所に大きな谷状の地形が存在することでした。不思議に思い、戦争直後に米軍によって撮影された空中写真を実体視（3D）して詳細に調査したところ、土地の改変前の砂丘地は驚くほど起伏に富んでいたことが明らかとなりました。

起伏をつくっていたのはパラボリック（放物線）砂丘と呼ばれる地形で、谷状の地形は、この砂丘地形がcaろうじてその姿をとどめているものであることがわかりました。新潟砂丘の中ではここだけに残る貴重な地形であり、何とか保全したいものです。また、佐潟の北岸には大きな地すべり地形があり、それによって湖岸線の形が大きく変わっていることも新たに判明しました。

「佐潟と歩む赤塚の会」「赤塚中原邸保存会」で講演



解説しました。ここでは赤塚の集落が位置する砂丘（新砂丘）が、実は砂丘ではなく、浜堤列と呼ばれる地形である可能性を示しました。浜堤列とは波によって運搬された砂や礫によって形成された何列にもわたる直線的な高まりで、高まりと高まりの間には堤間（湿）地と呼ばれる凹地が形成されます。中原邸はその堤間地の末端付近に位置することが調査でわかりました。講演をお聴きになっていた御当主の中原堯之さまの昔のご記憶と私の話したことがぴたりと整合し、われながらびっくりしました。その詳細を紹介する余裕はありませんが、まさに地形学と昔の生活の記憶が結びつくことを実感した瞬間でした。

こうした地形のほかに、砂丘地には林地が点々と分布しています。かつてこの砂丘には植林したクロマツ林が広がっていたのですが、現在はほぼ姿を消し、落葉広葉樹のエノキにとって代わっています。エノキ林は天然更新によって成立したもので、考え方によっては貴重な植生です。地形と植生と佐潟は一体の系で、これらの貴重な環境を保全し後世に残していく必要があります。「佐潟と歩む赤塚の会」総会ではこうしたことを話しました。

「赤塚中原邸保存会」総会では、中原邸の位置をいくつかの視点から地形学的に

【訂正】

「国際・情報」70号 8ページ
学生の名前に誤りがありました
（誤） 情報システム学科3年 亀山 祐樹
（正） 情報システム学科3年 亀山 裕樹

zoom↑ ズームアップ 研究室

「新潟Cityプロジェクト」では「新潟City」というアプリを使い、新潟市中央区の古町を中心にシテイプロモーションの企画を進めています。現在は「ICT（情報通信技術）」を活用したまちあるき」のイベントを企画中です。

「内野商店街活性化プロジェクト」は西区内野商店街を活性化するため、商店街や自治体の方々と協力し、「日本酒」による活性化プランをすすめていく活動を行っています。先日は「スイカ祭り」に参加するなど、地域のイベントを活用したプロモーションを展開しています。

「カワイイニイガタキモノプロジェ

「6次産業化プロジェクト」では農業系の専門学校と連携して、黒埼茶豆を原料とした味噌を醸造してもらい、味噌と、さらにはその味噌を材料としたスイーツの商品開発を進めています。また新潟市で開催される農業ビジネスプランコンテストにも応募します。

「NUISをもっと知ろう！プロジェクト」では本学の知名度を上げるため、在学生が高校生にどのようなアプローチをすれば良いか？といった企画を考え、「Idayキャンパスinうおぬま」に学生中心となって各プロジェクトの紹介をするという企画を実施しました。今後も学生主体で本学の広報活動を行っていきます。

情報システム学科 藤田 美幸 准教授



藤田美幸研究室は、商品企画やマーケティングなど卒業論文に活用したいと思っている学生が集まっている研究室です。

3年生13人、4年生8人で数人に分かれチームを編成し、他大学、企業の方々と一緒に5つのプロジェクトに取り組みんでいます。

商品企画やマーケティング、企業などと協力

クト」では中央区のとまつ衣裳店と協力し、卒業式などで着る和服を他大学の学生たちと一緒にプロデュースをしています。現在はプロモーション活動に重点をおき、着物に触れ合う機会を増やす企画をしています。

5つのプロジェクトは全て連携し、幅広い視点から考えられるように協力し合っています。

当研究室では学生が主体となり、社会人や他大学の学生とも協力することや、ビジネスプランコンテストに応募することで、アウトプット力をつけようとしています。

（4年 小林 茜）

在学生による広報活動を加えた

新潟国際情報大学の新広報プラン

4年・瀧澤 浩太郎

私は本学の知名度を少しでも高めるため、「SPI（=Student Public Relations Instructor）」という在学生による広報活動を、入試・広報課の方々と協力して考えました。今までも高校生向けの広報誌を発行するなどさまざまな情報提供を行っていますが、さらに「学生広報インストラクター」として、従来よりも一歩踏み込んだ次元のPR活動を行い、高校生のニーズに応えられる情報提供をしたいと考えています。高校生と年齢も近いので大学の講義やクラブ活動、キャンパスライフなどの質問もしやすく、良い印象を持つてもらえるのではと思います。

県内の高校生を対象にアンケートを行い、現在の大学広報にどの程度満足感があるのかなどを調べて、私たち学生が主体となって新しい大学広報を開拓していくことを計画しています。



・（2016年5月28日～5月29日）「第11回日本文化人類学会奨励賞の受賞」日本文化人類学会第50回研究大会（南山大学）

藤田 美幸 (情報システム学科・准教授)

- ・（2016年3月26日）「ゲーミフィケーションを活用した 内発的動機の駆動システムー健康支援サービスの事例よりー」地域デザイン学会 東北・新潟地域部会第5回研究会（新潟市中央図書館）
- ・（2016年5月21日～5月22日）「スポーツクラブにおけるウェアラブルを活用したスポーツサービスの有効性」日本情報経営学会 第72回全国大会（東海大学）
- ・（2016年5月21日～5月22日）Douglas M. Schutz, Youngjin Yoo, Masayoshi Fukushima, Miyuki Fujita「Information Handoffs and Digital Transformations in the Organization: The Digitalization of Manufacturing」日本情報経営学会 第72回全国大会（東海大学）

3) 競争的資金獲得研究

近山 英輔 (情報システム学科・准教授)

- ・（2016年4月～2019年3月）平成28年度科学研究費助成事業挑戦的萌芽研究「3次元細胞シミュレーション専用機の開発」研究代表者

4) 委員・社会的活動・記事・その他

内田 亨 (情報システム学科・教授)

- ・（2015年4月18日より継続～2016年3月31日）日本経営品質学会 理事
- ・（2015年4月1日より継続～2016年9月30日）NOSAI新潟 コンプライアンス委員

小山田 紀子 (国際文化学科・教授)

- ・（2015年8月12日）「帯日ムスリムとの共生を目指して」1p. （新潟県国際交流協会 NIA Letter Vol.5, 2015.9.）

神長 英輔 (国際文化学科・准教授)

- ・（2016年5月14日）テレビ朝日系「池上彰のニュースってそうだったのか」（2016年5月14日放送分）の番組監修

上西園 武良 (情報システム学科・教授)

- ・（2016年5月20日～2017年3月31日）(株)太幸より研究寄付金を獲得

藤本 直生 (国際文化学科・准教授)

- ・（2011年4月1日より継続）Asian EFL Journal, Associate Editor
- ・（2012年9月1日より継続）The Asia-Pacific Education Researcher, Springer, Occasional Reviewer
- ・（2012年10月1日より継続）British Journal of Education, Society & Behavioural Science, Occasional Reviewer
- ・（2013年1月10日より継続）English Scholars Beyond Border, Foundation Member

【訂正・おわび】前(70)号に誤植がありましたので再掲載します。

1) 研究論文・図書

白井 健二 (情報システム学科・教授)

- ・（2016年）"Analysis of Production Processes Using a Lead-Time Function", International Journal of Innovative Computing, Information and Control 12(1), 125-138

近山 英輔 (情報システム学科・准教授)

- ・（2016年）J. Kikuchi et al., "SpinCouple: Development of a Web Tool for Analyzing Metabolite Mixtures via Two-Dimensional J-Resolved NMR Database", Analytical Chemistry 88, 659-665

平成29年度 入学者選抜試験概要（要約一覧）

※詳細は本学学生募集要項でご確認ください。※出願期間内消印有効。

入 試 区 分		募 集 人 員		出 願 期 間	試 験 日	試験地	試 験 実 施 教 科 ・ 科 目	合格発表日	入学手続期間	
推薦入学試験	高校長推薦	指定校制	情報文化学部 情報システム学科	35	28年11月 1日火 11月 8日火	28年 11月13日	新潟	本学が指定校と定めた高等学校または中等教育学校の学校長あてに推薦依頼を行います。	28年 11月18日	28年11月18日 12月 2日
			国際学部 国際文化学科	30						
		Ⅰ期 公募制 ・教科成績重視型 ・資格・検定重視型	情報文化学部 情報システム学科	25						
	国際学部 国際文化学科		10							
	公募制 スポーツ推薦	情報文化学部 情報システム学科	若干名	28年11月 1日火 11月 8日火	28年 11月13日	新潟	〈資格・検定重視型〉面接・小論文 推薦要件：本学が定めた資格・検定に合格、あるいは成績を修め、かつ全体の評定平均値が3.5以上であること。 ※対象資格・検定は、学生募集要項で確認してください。	28年 11月18日	28年11月18日 12月 2日	
		国際学部 国際文化学科								
Ⅱ期	公募制 ・教科成績重視型 ・資格・検定重視型	情報文化学部 情報システム学科	5	28年12月 1日木 12月13日火	28年 12月18日	新潟	Ⅰ期・公募制(教科成績重視型)と同様。	28年 12月22日	28年12月22日 29年 1月 6日	
		国際学部 国際文化学科	5							
一般入学試験	前期 (第2志願制)	情報文化学部 情報システム学科	65	29年 1月 5日木 1月20日金	29年 2月 2日	新潟 上越 長岡 新発田	・国 語：国語総合(現代文)・現代文B ・数 学：数学Ⅰ・数学A ・外国語：コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ・英語表現Ⅰ、Ⅱ 上記3教科の中から2教科または3教科を選択(3教科受験した場合は高得点の2教科を合否判定に使用)。	29年 2月 8日	29年 2月 8日 2月17日	
		国際学部 国際文化学科	35							
	大学入試 センター 試験利用	情報文化学部 情報システム学科	10	29年 1月23日月 2月10日金	29年1月14日出、 15日の大学入試 センター試験を 受験していること	新潟	個別の学力検査等を行わず、平成29年度大学入試センター試験の成績で判定。各学部の利用教科・科目の中から2科目以上選択。 配点：各教科100点(3科目以上受験した場合は高得点の2科目を合否判定に使用。国語は近代以降の文章のみ利用。外国語(英語)はリスニングを含む)。※各学部で利用教科・科目は異なりますので、学生募集要項で確認してください。	29年 2月20日	29年 2月20日 3月 3日	
		国際学部 国際文化学科	10							
	後期 (第2志願制)	情報文化学部 情報システム学科	10	29年 2月22日水 3月 7日火	29年 3月13日	新潟	一般入学試験前期と同様。	29年 3月16日	29年 3月16日 3月23日	
		国際学部 国際文化学科	10							
帰国生入学試験 外国人留学生入学試験 社会人入学試験	情報文化学部 情報システム学科	若干名	28年11月 1日火 11月 8日火	28年 11月13日	新潟	面接・小論文	28年 11月18日	28年11月18日 12月 2日		
	国際学部 国際文化学科	若干名								

入学時の奨学金	高校長推薦 入学試験合格者	合格後に希望者に対し2月26日「奨学金試験」を実施し、その結果、成績上位者に年間授業料の半額を給付します。	一般入学試験(前期) 受験者	一般入学試験(前期)の試験結果から、上位成績者に年間授業料の半額を給付します。
----------------	----------------------	---	-----------------------	---

◎入試と奨学金の詳細については入試・広報課までお問い合わせください。TEL025-264-3777(直) FAX025-264-3780 E-mail nyushiweb@nuis.ac.jp

今年度、入試・広報委員長を務めることになりました。高校生、在学生、卒業生、退職された教職員の方々、そしてそのご家族に新潟国際情報大学の「今」を少しでも紹介できればと考えています。この「湧源」は4回担当することになるかと思いますが、よろしくお祈りします。

思い起こせば、2000年4月に着任して初めて配属された委員会が当時の入試実施委員会と広報委員会、広報委員は2期4年間務めました。2002年サッカー・ワールドカップの際には計4日間JR新潟駅で学生・卒業生と共に通訳ボランティアの現場責任者を任せられ、深夜2時発の上越新幹線・臨時列車を見送り、それから自宅に戻って翌日午前にまた大学で仕事ができた自分は本当に若かったのだと思います。

あれから10年以上が経過し、情報通信技術が大きく変わり、大学の広報もこれまでの新聞や電車内の広告といった伝統的な手段ではなかなか効果を上げにくくなっているように思います。特に高校生の間に普及するスマホと大学HP上の情報の動画化には急速な対応が求められているように思います。

今年もオープンキャンパスを3回開催します。6月18日に「会いにくキャンパス」をキャッチフレーズに「新潟国際情報大学1dayキャンパス in うおぬま」を開催しました。魚沼地区の知名度向上を目的とし、大学側から出向いて模擬講義を行う新しいタイプのイベントです。今後はスマホ広告をはじめ、出前講義などいかに高校生に近づけるかが本学の知名度アップの重要な鍵となると思っています。文末になりましたが、ミニコンサートで盛り上げた六日町高校吹奏楽部の皆さん、本当にありがとうございました。ご協力に感謝します。

湧源

編集後記に代えて

入試・広報委員長 **安藤 潤**

教員の活動（本人申告による）

1) 研究論文・図書

- 内田 亨(情報システム学科・教授)**
- ・(2016年)『経営と組織』新潟国際情報大学 (74頁)
 - ・(2016年)山本靖「新潟県における「フライング企業」の研究—シマト工業株式会社の事例より—」『新潟国際情報大学情報文化学部研究紀要』Vol.2 (61-70頁)
 - ・(2016年)寺本義也、内田亨「ノルウェーの水産業とそれを支援する機関—ノルウェー水産物審議会(NSC)及びノルウェー産業科学技術研究所(SINTEF)を中心に—」『新潟国際情報大学情報文化学部研究紀要』Vol.2 (71-79頁)
- 越智 敏夫(国際文化学科・教授)**
- ・翻訳(2016年3月)ハリー・ハルトゥーニアン「季節はずれのはかない幽霊——戦後日本における第二の昭和維新」キャロル・グラック、五十嵐俊郎編『思想史としての現代日本』岩波書店 (219-244頁)
- 小宮山 智志(情報システム学科・准教授)**
- ・(2016年)「情報感度の学習成果に及ぼす影響」『新潟国際情報大学情報文化学部研究紀要』Vol.2巻 (23-30頁)
- 佐藤 若菜(国際文化学科・講師)**
- ・(2016年)「身体とともにある食事：中国貴州省農村部の事例から」『Vesta：食文化のひろば』102巻 (25-36頁)
- 白井 健二(情報システム学科・教授)**
- ・(2016年)「Synchronization analysis of a production process utilizing stochastic resonance」, International Journal of Innovative Computing, Information and Control 12(3), 899-914
- 近山 英輔(情報システム学科・准教授)**
- ・(2016年)「The Effect of Molecular Conformation on the Accuracy of Theoretical 1H and 13C

Chemical Shifts Calculated by Ab Initio Methods for Metabolic Mixture Analysis」, Journal of Physical Chemistry B 120(14), 3479-3487

2) 学会・研究会・講演等

- 小山田 紀子(国際文化学科・教授)**
- ・(2015年11月3日)「講演『イスラーム教徒の生活と文化—異文化理解のために—』」新潟県国際交流協会(新潟大学と共催)
 - ・(2016年3月12日)「講演『ジャスミン革命(アラブの春—その後)—』」新潟国際情報大学/新潟日報社(中央キャンパス)
 - ・(2015年10月3日)「報告『アルジェリア—仏植民地から独立国家へ—』」国際学部共同研究「仏アと日韓関係」(明治大学)
- 熊谷 卓(国際文化学科・准教授)**
- ・(2016年5月28日)「テロリズムと国際法」慶應義塾大学法科大学院・市民生活の自由と安全研究会(慶應義塾大学法科大学院)
- 小林 満男(情報システム学科・教授)**
- ・(2016年3月5日)「生涯研鑽の場としてのJABEEと日本技術士会」日本技術士会情報工部会35周年記念シンポジウム(日本技術士会)
- 佐藤 泰子(国際文化学科・契約講師(英語))**
- ・(2016年5月26日～7月29日)「実践講座『新潟』の魅力伝える『まちかどふれ愛英会話』」平成28年度 新潟県高齢者大学(新潟ユニゾンプラザ)
- 佐藤 若菜(国際文化学科・講師)**
- ・(2016年3月20日)「中国貴州省ミャオ族における民族衣装がつなぐ母娘関係の動態：女性のライフコースと社会的経済の変化に着目して」日本文化人類学会近畿地区研究懇談会(神戸大学)

魚沼市と人的・知的資源の交流

包括的連携協定締結



平山学長(右)と大平市長(左)が協定書を手に笑顔で並ぶ

「包括的連携協定」結ぶ

教育・文化の振興、人材育成 地域づくり、国際交流を推進

本学は魚沼市と協力して地域と大学ともに発展することを目的に、「包括的連携協定」を5月30日、魚沼市役所で締結しました。お互いに人的・知的資源や地域力などで交流し活用していくもので、本学が単独で自治体とこのような協定を結ぶのは初めてです。連携事業では、教育・文化

の振興、人材育成、地域づくりおよび産業振興、国際交流推進の4つの柱に関することを進めていきます。締結式は市役所小出庁舎で行われ、平山征夫学長は「わたしは魚沼市合併当時の知事でした。人口減少のこれから、

本学初の「学外」オープニングキャンパスを6月18日、魚沼市の地域振興センターで開催しました。同市と「包括的連携協定」を結んで初の連携事業となり、市役所と教育委員会、近隣の高校、中学校など地域の協力で行われました。

しみました。人間工学の応用で改良した製品を試すコーナーでは、学生のアイデアで身近なものが使いやすくなり参加者は「大したものですね」と驚いていました。

学生たちは「笑顔で説明できると参加者にも楽しん

初の「大学出張」

1dayキャンパス in うおぬま



語学体験や光通信

平山学長の特別講演と白井健二教授、越智敏夫教授による模擬講義にはじまり、会場にしつらえた大学紹介ブースでは、錯視を体験するペーパークラフト作成やロボットの模倣体験、3Dプリンタ体験、光通信や英会話授業など体験講座が人気。魚沼市内外から訪れた高校生、中学生と父母ら100人近い参加者が教授や学生の案内説明を受けて、「一日学生」を楽し

でもらえると気づいた「わかりやすく説明する難しさを実感した」と感想を話し、学生の成長も見てとれる有意義な催しとなりました。

(情報システム学科・准教授 小宮山 智志)

2016 オープンキャンパス

OPEN CAMPUS

高校生はじめどなたでもご参加できます!

2回目

7/31

10:30▶15:30

3回目

9/4

10:30▶14:30

無料 送迎バス運行

①学部紹介 ②入試情報・傾向と対策 ③模擬講義 ④語学体験(英語・ロシア語・中国語・韓国語) ⑤コンピュータ実習 ⑥入試・海外留学・就職個別相談(キャリアカフェ) ⑦入試対策講座 ⑧実験体感コーナー ⑨キャンパスツアー ⑩保護者プログラム など

会場 新潟国際情報大学 本校
新潟市西区みずき野3-1-1(JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)

※時間やイベントについては、変更になる場合があります。最新情報は本学ホームページをご覧ください。

参加お申込み・お問い合わせ先

入試・広報課 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1 TEL 025-264-3777(直) FAX 025-264-3780 E-mail nyushikouho@nuis.ac.jp